



# 「うるおいを育むまちづくり」を目指したプロジェクト 「プライドシティ浦和」が、「SEGES 社会・環境貢献緑地」の認定を取得 ～ 関東地区のマンションでは初めての認定 ～

野村不動産株式会社が開発を進めている プライドシティ浦和（設計施工: 株式会社長谷工コーポレーション）は、財団法人都市緑化機構（東京都千代田区外神田 2-15-2 会長 高原 慶一朗）が運営する「SEGES（シージェス）社会・環境貢献緑地評価システム」において『緑の保全・創出により社会・環境に貢献する開発事業（都市開発版 SEGES）』として認定されました。2010年の本格運用以降、関東地区のマンション事業では初の認定となります。

「社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES：シージェス）」とは、緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する制度。政府の、第三次環境基本計画、生物多様性国家戦略2010、生物多様性民間参画ガイドライン等に位置づけられています。

## 浦和 Green Comfort ～うるおいの育まれるまち～ 緑が家族と住まい・コミュニティ・人と環境を繋ぎ育む

プライドシティ浦和は、“浦和 Green Comfort ～家族とすまい、エリアコミュニティ、人と環境が、緑の空間を通じてうるおいに包まれていくまちづくり～”をコンセプトとして計画された集合住宅施設です。

緑化率30%を超える開発敷地内には、街の景観を象徴するセンタープロムナードの並木、壁面緑化の技術を採用した緑化ウォール、敷地内に残された貴重な既存樹を活用した「オータムフォレスト（どんぐりの森）」、家族がのびのび遊べるアクティビティ空間であるファミリーパークなど様々な演出された緑地がつながりをもって配置され、緑のネットワークを形成しています。これら緑豊かな共用施設やオープンスペースを活用してコミュニティづくりを楽しめるようミニコンサートやガーデニング教室等の住民参加プログラムが企画されています。

また、本施設の植栽計画は、地域の在来種を中心とした多種多様な植物により構成し、周辺調査に基づく野鳥や昆虫類の誘引や生育を促進する生物多様性保全の環境整備を目指しています。

SEGESでは、こうした緑豊かな空間と人々をつなぐ参加の仕組みや地域生態系に配慮した本計画を評価し、社会環境貢献緑地として認定しました。



## SEGESとは

良好に維持管理されている緑は、環境を保全し、潤いと安らぎのある美しいまちづくりに貢献します。SEGES（シージェス：社会・環境貢献緑地評価システム）は、社会や環境に貢献する緑地を評価する、いわば「みどりの認定」です。SEGESでは、企業などが積極的に保全・維持・活用に取り組む優良な緑地を認定する「既存版 SEGES」を2005年度から実施し、下表の企業を認定しています(一部のみ記載)。

トヨタ自動車株式会社「トヨタの森」	愛知県豊田市	株式会社小松村田製作所	石川県小松市
三井住友海上火災保険株式会社 駿河台ビル	東京都千代田区	穴水電子工業株式会社	石川県鳳珠郡
ソニーイーエムシーエス株式会社幸田テック	愛知県幸田町	出光興産株式会社 千葉製油所	千葉県市原市
アサヒビール株式会社 神奈川工場	神奈川県南足柄市	出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市
ソニー 大分テクノロジーセンター	大分県国東市	出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市
花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	出光興産株式会社 徳山製油所	山口県徳山市
富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	森ビル株式会社 アークヒルズ	東京都港区
田辺三菱製薬工場株式会社 足利工場	栃木県足利市	東京ガス株式会社 環境エネルギー館	神奈川県横浜市
株式会社村田製作所 本社	京都府長岡京市	株式会社ノリタケカンパニーリミテド ノリタケの森	愛知県名古屋市
株式会社村田製作所 八日市事業所	滋賀県八日市市	株式会社エーザイ 川島工園	岐阜県各務原市
株式会社村田製作所 野洲事業所	滋賀県野洲市	西武鉄道株式会社 飯能西武の森	埼玉県飯能市
株式会社村田製作所 横浜事業所	神奈川県横浜市	株式会社グリーンワイズ	東京都多摩市
株式会社岡山村田製作所	岡山県岡山市	株式会社アシュラン	福岡県大野城市
株式会社金沢村田製作所	石川県白山市	サンデン株式会社サンデンフォレスト	群馬県前橋市
株式会社福井村田製作所	福井県越前市	立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市

## 都市開発版SEGES

### ■ 都市開発版 SEGES とは

建築や開発など都市開発事業における緑の保全・創出の計画について、緑の機能や効能による社会や環境への貢献度を一定の基準に沿って評価・認定するシステム。「既存版（そだてる緑）」は既にある緑地の管理や活用について評価するのに対し、都市開発版（つくる緑）では、計画・施工段階にある新しく創られる緑地を対象とします。

2010年より本格認定を開始し、昨年8月、都市開発版第1号として、東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区）が開発した「永田町二丁目計画」（ビル名称：東急キャピトルタワー）が認定されています。

### 都市開発版第一号認定「永田町二丁目計画」

同事業（東急キャピトルタワー）は、国会議事堂、首相官邸など我が国の政治の中核地区に立地、特に西側には、都心に残された貴重な社を擁する日枝神社が隣接しています。本認定は、歴史と風格を重んじながら、良質な都市景観の形成、地域生態系の保全に寄与する緑化計画が評価されました。

■ 所在 東京都千代田区永田町二丁目10-3



全体配置図

### ■ 都市開発版の審査項目は・・・

緑化による社会・環境への貢献機能として、気象緩和機能、水循環機能、景観形成機能、地域生態系機能、風環境調整機能、動線機能、レクリエーション機能等を総合して評価しています。